

事業計画書様式

1 様式1

(施設概要、指定管理者概要)

2 様式2

(公園の管理運営にあたっての基本方針（ビジョン）、本年度の基本的な管理運営方針（ミッション）、運営業務の実施計画・取組、管理運営体制、人員の配置と研修計画（人員体制表、勤務体制表、人員体制の考え方・職能等、職員の人材確保及び人材育成・職員の研修方針及び計画について）)

3 様式3

(利用者サービスの向上・利用促進策、広報・プロモーションの取組、市民協働・市民主体の活動の支援・地域人材育成、地域課題を踏まえた事業提案・地域活性化への貢献、災害時の緊急対応、安全対策・防犯対策、苦情・要望への対応・不法行為対策について、本市の重要施策を踏まえた取組・環境への配慮、個人情報保護・情報公開・人権尊重・障害者差別解消)

4 様式4

(公園の維持管理の基本方針、公園施設・設備の維持管理、公園施設・設備の修繕計画、樹木・植栽等の管理、巡視・清掃)

5 様式5

(無料事業実施計画一覧（自主事業含む）、有料事業実施計画一覧（自主事業含む）)

6 様式6

(業務の第三者委託一覧)

7 様式7

(収支予算書（指定管理事業のみ）)

8 様式8

(運営目標)

(事業計画書様式1)

1 施設概要

公園名	海の公園
所在地	金沢区海の公園 10
公園面積、公園種別	471,063 m ² (総合公園)
主な施設	人工砂浜・親水護岸、なぎさ広場、ビーチバレー・ビーチスポーツ場、健康歩道、犬の遊び場、バーベキュー場、管理棟、休憩所、案内所、ウインドサーフィン艇庫、駐車場等
特徴	横浜市内で唯一海水浴ができる砂浜（人工海浜）を有する公園です。砂浜は延長約1kmあり、夏は海水浴客で賑わうほか、アサリ等多くの貝類が生息しているため、春先には潮干狩り等で賑わいます。また、マリンスポーツの場としても人気があり、園内にはウインドサーフィン、SUP等の艇庫、砂浜にはビーチバレー場、ビーチスポーツ場が設置されています。そのほか、なぎさ広場の芝生のグラウンドやバスケットコート、園路のジョギングコース等、様々なスポーツ施設を有しています。 公園開設当時に植樹された樹木が豊かに成長し、青い海に鮮やかに映える豊かな緑を形成し、散策や休憩に最適な緑陰を提供しています。また、多種の鳥や昆虫の生息場所にもなっています。
公園開園日	1988年（昭和63年）7月2日

2 指定管理者概要

指定管理者名	横浜市緑の協会・金沢臨海サービスグループ
代表者名	代表団体 公益財団法人横浜市緑の協会 理事長 橋本 健
所在地	横浜市中区日本大通 58 番地
指定管理期間	令和7年4月1日から令和12年3月31日まで（5年間）
現指定管理者管理運営開始日	令和7年4月1日

構成団体A

団体名	公益財団法人 横浜市緑の協会
代表者名	理事長 橋本 健
所在地	横浜市中区日本大通 58 番地

構成団体B

団体名	株式会社 金沢臨海サービス
代表者名	代表取締役 田口 政一
所在地	横浜市金沢区柴町 391-7

(事業計画書様式2)

1 公園の管理運営にあたっての基本方針（ビジョン）

海の公園の特性を活かし、当団体が掲げるビジョン「豊かな海を未来へ繋ぎ みんなで創ろう 3SEA（頼も SEA(シー) 美 SEA(シー) 楽 SEA(シー)) な海を」の達成に向けた着実な管理運営に取り組みます。

当公園の管理運営においては、市内で唯一、管理区域内に海域を持つ都市公園として、防災も含めた海辺の安全安心の遵守、生物多様性・景観の保全、海ならではの多様な憩い・楽しみを誰もが享受できる場・機会の提供、横浜市中期計画や GREEN×EXPO 2027 といった市の重要施策への協力などを、多様な主体と連携して推進・発展させたいと考えています。

2 基本的な管理運営方針（ミッション）

指定管理者に求められる基本的役割を果たし、かつ上記ビジョン実現のため、公園の特性を踏まえた4つのミッション（果たすべき役割）に取り組みます。

- ・ミッション1 頼も SEA(シー) 安全・安心を強化し、「いつも」・「もしも」に備えます
- ・ミッション2 美 SEA(シー) 海の公園特有の環境を守り、次世代に繋げます
- ・ミッション3 楽 SEA(シー) 海の公園のストックを活かし、多様な楽しみを推進します
- ・ミッション4 みんなで創ろう 海の公園のより良い公園環境は、多様な主体と連携して創出します

3 運営業務の実施計画・取組

今年度の管理運営方針を実施するための取組

- (1) ミッション1 頼も SEA(シー) 安全・安心を強化し、「いつも」・「もしも」に備えます
安全・安心な公園づくりに向け、特に海辺の安全対策に注力し、日頃から災害時の備えを強化することで、利用者・地域の皆様の安全を守ります。
- (2) ミッション2 美 SEA(シー) 海の公園特有の環境を守り、次世代に繋げます
多様な生物が生息する海や浜辺、白砂青松などの緑地資源を活かした環境教育や生物多様性保全に関する取組を推進し、環境に対する意識を高めるとともに、貴重な自然を後世に継承します。
- (3) ミッション3 楽 SEA(シー) 海の公園のストックを活かし、多様な楽しみを推進します
多様な人がレクリエーションやスポーツを楽しめる事業やサービスを充実させ、心身共に豊かで健康的な日々を送るための環境を提供することで、ウェルビーイングにも貢献します。
- (4) ミッション4 みんなで創ろう 海の公園のより良い公園環境は、多様な主体と連携して創出します
本公園の安心・安全・快適・景観・賑わいづくりは、地域・市民・団体の皆様など多様な主体とも連携しながら創出し、地域課題の改善にも貢献します。

4 管理運営体制、人員の配置と研修計画

(1) 管理運営体制

職種	人数(名)	役割
園長（施設長）	1	責任者
副園長（副施設長）	2	副責任者、施設管理・園地管理
運営管理スタッフ（職員）	2	運営管理
運営管理スタッフ（パート）	4	運営管理
海浜管理・園地整備スタッフ（職員）	6	海浜管理・園地整備
海浜管理・園地整備スタッフ（パート）	17	海浜管理・園地整備
安全管理スタッフ（ライフセーバー、看護師等）（職員）	1	安全管理
安全管理スタッフ（ライフセーバー、看護師等）（パート）	29	安全管理
建物清掃スタッフ（職員）	4	建物清掃
建物清掃スタッフ（パート）	6	建物清掃

(2) 勤務体制

職種	主な業務内容	勤務日(目安)
園長（施設長）	公園統括・マネジメント、事業・予算管理、人材育成	週5日
副園長（副施設長）	統括補佐、運営・施設・海浜・園地管理業務統括	週5日
運営管理スタッフ（職員）	運営管理、自主事業、広報、設備保守管理、植栽管理など	週5日
運営管理スタッフ（パート）		週2～4日
海浜管理・園地整備スタッフ（職員）	巡視、点検、海浜管理・園地整備など	週5日
海浜管理・園地整備スタッフ（パート）		週2～4日
安全管理スタッフ（ライフセーバー、看護師等）（職員）	海面監視、救護など	週5日
安全管理スタッフ（ライフセーバー、看護師等）（パート）		週2～4日
建物清掃スタッフ（職員）	建物・トイレ清掃など	週5日
建物清掃スタッフ（パート）		週2～4日

・勤務体制は12～22名を基本とし、繁忙日は増員するなど、柔軟に対応します。

(3) 人員体制の考え方・職能等

公園全体を統括する園長（施設長）、園長の補佐及び園長不在時に統括を代行する副園長（副施設長）を2名配置します。スタッフは、専門性を高めるため、業務別に人員を配置します。また、園長、副園長は、業務別に分かれたスタッフが一体となって公園管理に取り組めるよう、相互の業務協力を促すようマネジメントします。

(4) 職員の人材確保及び人材育成・職員の研修方針及び計画について

「公園管理のプロを育てる」を到達目標に、人材育成に取り組みます。

- ・研修は、①利用者対応・サービス、②園地管理作業、③マネジメント関係をテーマに実施
- ・目標管理制度、職員表彰制度の運用

（事業計画書様式3）

1 利用者サービスの向上・利用促進策

(1) 頼も SEA（シー） 安全・安心を強化し、「いつも」・「もしも」に備えます

- ・海辺の安全・安心の徹底

いつでも公園を安全・安心・快適に利用できるよう、特に海辺の安全対策と啓発に注力

(2) 美 SEA（シー） 海の公園特有の環境を守り、次世代に繋げます

- ・海辺の環境保全

本公園の環境保全につながる取組を多様な主体と連携して実施し、自然環境を活かした社会課題解決（NbS）への貢献、「ネイチャーポジティブ」達成に貢献

- ・海や緑を身近に感じる取組の充実

本公園の海浜環境を活かした環境教育・啓発、GREEN×EXPO 2027 の協力のための緑に関する取組の推進

(3) 楽 SEA（シー） 海の公園のストックを活かし、多様な楽しみを推進します

- ・潮干狩り・海水浴を快適に楽しめる公園の賑わい・環境づくり（レクリエーション）

潮干狩りや海水浴を楽しめるサービスの提供、公園や金沢区の賑わいづくりと魅力アップの取組の推進

- ・海辺や広場を活かした心身の健康づくり（スポーツ）

本公園の多様な施設を活かし、スポーツなど市民の健康づくりに資する事業やサービスの充実により、心身共に豊かで健康的な日々を送るための環境を提供

- ・誰もが憩える園内づくり（インクルーシブな公園環境）

(4) その他

- ・水遊び場の開設、海水浴場の遊泳条件・混雑状況可視化サービスの提供、SNS を活用した各種情報発信を実施
- ・利用者満足度アンケート

2 広報・プロモーションの取組

- ・金沢区居住促進プロモーションと連携した広報の推進
- ・区のまちづくりを応援するため、関係機関や企業等と連携し、区の魅力や取組を映像で発信
- ・横浜金沢観光協会や横浜シーサイドラインと連携した情報発信
- ・ホームページやSNSを活用し、潮干狩りや海水浴、イベント情報などをタイムリーに発信

3 市民協働・市民主体の活動の支援・地域人材育成

- (1) 多様な主体との協働によるより良い公園環境の創出
 - ・安心・安全に関する事業、アママ場再生などの環境保全活動、公園の賑わいづくりなどで地域や行政、NPO、企業など多様な主体と連携
- (2) ボランティアがいきいき活動できる場・機会の支援
- (3) 地域人材育成への貢献
 - ・本公園特有の海浜環境を活かし、環境問題に興味を持つ地域人材や水難救助などで活躍する地域人材の育成に貢献

4 地域課題を踏まえた事業提案・地域活性化への貢献

- (1) 「人口変動や高齢化に対応したまちづくり」へのアプローチ
 - ・金沢区居住促進プロモーションへの協力
 - キッズスペースや授乳室の設置、水の遊び場の開催日拡大などによる子育て支援の取組
 - ・多様な施設を活かした心身の健康づくりを支援
 - ・園内サインの更新時はピクトグラム、カラーバリアフリー、ナッジの手法を導入。水陸両用車いすの貸出などインクルーシブに配慮
- (2) 「自然環境の保全・創出」へのアプローチ
 - ・指定管理公園間での知識・技術・情報の共有、海辺の環境保全の推進
- (3) 「防災機能の強化」へのアプローチ
 - ・実践的な津波対策マニュアルを作成し、これに基づく訓練を実施
- (4) 「地域資源を活用した地域の活性化」へのアプローチ
 - ・本公園の特性を活かした事業を展開することで地域の活性化に貢献
- (5) 地域経済活性化への取組
 - ・官公需適格組合への委託、市内中小企業への優先的発注の実施

5 災害時の緊急対応

- (1) 災害に備える予防的対策
 - ・災害対応マニュアルや津波避難マニュアルの整備・共有
 - ・災害実地訓練(管理期間中1回以上)や防災訓練(年1回)など各種訓練の実施
 - ・園長、副園長が防災士を取得
 - ・対応資材の備蓄、警報発表時の特別巡視、大会主催者と連携した災害対策、災害対応型自動販売機の設定

(2) 災害発生時の基本的対応

- ・津波注意報・警報が発表された場合は園内の高台に避難させ、注意報・警報が解除されるまでは園内に留まる。注意報、警報が発表されない場合であっても余震などを想定し、早急に園内から退避させる。

6 安全対策・防犯対策

(1) 安全対策

- ・水難事故対策として、金沢消防署等と連携した合同水難救助訓練を実施。潮干狩り・海水浴期間中はライフセーバーを配置し海面を監視
- ・危険生物対策として、ハチ、チャドクガ等の防除や、カツオノエボシ等毒性のある海の危険生物の漂着時の除去と注意喚起、トビやカラスによる被害防止のための注意喚起
- ・事故防止対策として、放置釣針やペグ等の定期的な回収と放置禁止の呼びかけ
- ・潮干狩りシーズンや海水浴場開設期間中の看護師の配置。AEDの複数設置や救護用品配備
- ・熱中症対策として、海水浴期間中の大型テントの設置による日陰の提供

(2) 防犯対策、不法行為対策・利用指導

- ・一般的な防犯対策のほか、機械警備やコールセンターの設置により夜間でも警備員・職員が急行可能な体制を構築、夏期の夜間は警備員巡視を実施

(3) 感染症対策

- ・新型コロナ、鳥インフルエンザへの適切な対応、蚊媒介感染症の予防

(4) 公衆衛生

- ・海水浴場開設に必要な2回の検査に加え、独自で期間中に定期的検査及び遊泳禁止時の検査を実施
- ・金沢ポンプ場から海域への越流水放出の連絡を受けた際は、水質改善まで遊泳を禁止

(5) 維持管理作業における安全対策

- ・草刈作業は、複数名の作業を基本とし、飛散防止シートなどを用いて石などが飛散しないよう養生
- ・墜落制止用器具、ヘルメットなどの安全装備着用の徹底、安全衛生講習の受講
- ・KY(危険予知)ミーティングの実施。体調不良者には休養などを措置
- ・炎天下での長時間作業を避け、塩分・水分の補給やこまめな休憩など、熱中症対策を実施

7 苦情・要望への対応・不法行為対策について

広報事業実施要綱などに基づく具体的な対応

- ・本公園ホームページに「ご意見・ご要望・お問合せ」受付ページを設置、窓口や電話、利用者アンケートなど様々な方法で聴取し、改善策などを迅速に検討、実施

8 本市の重要施策を踏まえた取組・環境への配慮

(1) 「横浜市中期計画 2026～2029」の重点施策等を踏まえた取組

- ・子どもの健全育成に資する教室等の開催

- ・行政や地域と連携した訓練やイベントの開催による、魅力的な「まち」づくりへの貢献
 - ・GREEN×EXPO 2027 応援花壇の設置及び管理、関連ポスター等の掲出など、「GREEN×EXPO 2027」への貢献
- (2) 「横浜市 SDGs 未来都市計画」を踏まえた取組
- ・アサリ生息調査・砂浜の耕耘・アマモ場再生活動・ビーチクリーンなどによる環境保全
 - ・市民・地域団体等によるボランティア活動の支援、インクルーシブな管理の推進
- (3) 「横浜市地球温暖化対策実行計画」の実現に向けた取組
- ・回収したアオサの一部を堆肥化し、農業に活用、横浜ブルーカーボン事業への協力
- (4) 市内中小企業への優先発注
- ・本公園での物品購入や工事・委託の発注は、基本的に市内中小企業へ発注

9 個人情報保護・情報公開・人権尊重・障害者差別解消

- (1) 当団体の方針、規定に基づく個人情報保護・情報公開
- ・個人情報保護研修を実施
- (2) 人権尊重・障害者差別解消のための取り組み、研修の実施

(事業計画書様式4)

1 公園の維持管理の基本方針

- ・ネイチャーポジティブ（NP）にもつなげる維持管理の推進
本公園の豊かな自然を次世代につなげるため、生物多様性保全と安全・安心・快適な公園環境を両立する海浜の維持管理に取り組みます。
- ・「海の公園花咲くプロジェクト」のさらなる推進
本公園の大きな特徴であるマツ林の景観保全や、季節の彩りを演出する草花の植栽、GREEN×EXPO 2027 応援花壇の設置により、花と緑の魅力向上に取り組みます。

2 公園施設・設備の維持管理

- (1) 漂着アオサの回収と堆肥化
- ・アオサを迅速に回収し、その一部を堆肥化し、農業肥料等にリサイクル
- (2) アサリの生育保全
- ・アサリの生育調査を月1回実施、分析し分布などを把握
 - ・砂浜内を攪拌して空気を入れる砂浜耕耘を実施(年1回)
- (3) アマモ場の保全
- ・快適な海水浴場に配慮した維持管理のため、海水浴場開設前にアマモを一部刈込み
 - ・アマモ場再生活動
アマモ場を再生・拡大するためのアマモの植付活動などを、NPO、企業や市民と協働により実施

3 公園施設・設備の修繕計画

(1) 予防保全

定期点検や精密点検により健全度や劣化状況を把握して修繕の優先度を評価。計画的な修繕により、事故防止や長寿命化に貢献

(2) 事後保全

日常巡視・点検などにより異常の有無を確認し、常に適切なタイミングで修繕を実施

4 樹木・植栽等の管理

(1) GREEN×EXPO 2027 応援花壇による魅力の増進

- ・四季の移り変わりが楽しめる花壇づくりに着手

(2) 季節の見どころづくりに配慮した花壇管理

- ・園内に複数の花壇を設置し季節の彩りを演出
- ・花壇の維持管理作業の一部は、ボランティアの協働により実施

(3) 「白砂青松」の景観の保全

- ・マツ林の広がりやマツ越しの景観を楽しめるよう剪定を実施
- ・マツ枯れ対策として、必要に応じ樹幹注入を行い予防

(4) サクラの魅力保持

- ・園内約 160 本のサクラの魅力保持のため、回復のため適切な治療、移植、更新を行う

(5) 公園環境に合わせた植栽の充実

- ・園内に植栽を新規導入する際は、耐潮性のある植物とする

5 巡視・清掃

(1) 巡視・点検方法

- ・日常巡視を 1 日 2 回実施
- ・マナー違反・危険行為などの目撃時は利用指導を実施
- ・点検は、市公園施設点検マニュアルに基づく施設点検（年 4 回（通常 3 回、詳細 1 回））、施設管理者点検（年 1 回）、当団体独自の月例点検（月 1 回）を実施
- ・特別巡視は、気象警報解除後や震度 5 弱以上の地震発生後等を実施
- ・夜間の園内灯の点灯点検を実施（月 1 回）
- ・海水浴シーズンの夜間や年末年始の繁忙時などに、警備員による巡視を実施

(2) 清掃方法

日常・定期清掃

- ・砂浜はペグ・ガラス片などの危険物は毎日除去
- ・タイドプールは構造上、漂着物が堆積しやすいため、定期的に清掃
- ・園路は、ごみ拾い、掃き掃除などを実施。園路に飛来した砂を砂浜に戻す飛砂復旧を定期的に実施
- ・トイレは、毎日 1 回を基本とし、利用状況に応じて随時実施

臨時清掃

- ・砂浜は、漂着アオサの回収を随時実施
- ・海水浴シーズンには、海底のマガキや、ブイに付着する貝類等を除去

(事業計画書様式5)

無料事業実施計画一覧 (自主事業含む)

No	事業名	内容 (募集人数等)	新規	実施 時期	回数
(1)頼も SEA (シー) 安全・安心を強化し、「いつも」・「もしも」に備えます					
1	合同水難救助訓練	横浜海の公園ライフセービングクラブと金沢消防署との共催で、水難救助訓練を実施		7～8月	1
2	津波避難訓練	海開きに合わせ、金沢区、金沢消防署と連携した訓練を実施		7月	1
3	ジュニアライフセービング教室	水難事故防止のため、緊急時の心肺蘇生、応急手当などの子どもを対象とした体験教室を開催		6～12月	6
4	海水浴期間中の安全・安心の徹底	ライフセーバー配置、巡視用ジェットスキー・救助用ボートの配備、ライフジャケットの貸出、迷子案内所、看護師配置		海水浴期間中	随時
5	海の危険生物対策	本公園の海域で見られる毒性の強い生物の情報を園内掲示、ホームページなどで注意喚起		通年	通年
(2)美 SEA (シー) 海の公園特有の環境を守り、次世代に繋げます					
6	アマモ場再生活動	NP0団体の指導のもと、園内のアマモ場再生・拡大を企業・市民の皆様と協働で実施		随時	随時
7	ビーチクリーン活動の支援・推進	ボランティアにトング等用具類を貸し出し		通年	通年
8	アサリの生息調査	アサリの状況・分布等を把握する定点観測調査を行い、調査結果に基づき乱獲防止を啓発		毎月	12
9	潮干狩り時のルール周知・啓発	園内放送、ホームページ、ブログ、SNS による啓発、多言語表記の啓発看板掲出などを実施		潮干狩り期間	随時
10	海の公園花咲くプロジェクト	GREEN×EXPO 2027 の PR も兼ねた次の取組を、市民・団体、金沢区役所などと連携して実施		—	—
10-1	GREEN×EXPO 2027 応援花壇の設置・管理	令和5年に設置した当該花壇を、市民協働で管理		随時	随時
10-2	季節ごとの花の演出	園内11か所の花壇を、季節の花々で演出		随時	随時
11	潮干狩りワークショップ	横浜シーサイドラインと共催し、潮干狩りのルールやノウハウを楽しく学ぶワークショップを開催		6月	1

12	海とのふれあいセンサーまつり	花火大会にあわせ本公園のPRと海への関心を高めるイベントを実施		8月	1
13	潮干狩りでのサービス	救護所への看護師の配置、干潮時刻情報提供、渋滞・駐車場情報の発信、水陸両用車いすの貸出など		潮干狩り期間中	随時
14	海開き式	海開き宣言やステージ発表、津波避難訓練（再掲）、ビーチクリーンなどを実施		7月	1
15	海水浴でのサービス	休憩テントや無料シャワー、更衣室の設置、水陸両用車いす貸出、迷子案内所設置		海水浴期間中	随時
16	アウトドアイベント GOOD OPEN AIRS	国内外のアウトドアブランドが集結し、ワークショップ、アクティビティ、物販などを実施		4月	1
17	ドッグランイベント	大規模ドッグランイベントを開催。期間中はキッチンカーも出店し、利用者の飲食ニーズに対応		10月～2月	4
18	子どもロケット体験教室	市民団体等と連携して、紙製ロケットを砂浜で飛ばす体験教室を開催		10, 3月	2
19	地域と連携した季節の催事	金沢区や横浜金沢観光協会などと連携し、金沢まつり花火大会や金沢文庫芸術祭、どんどこ焼きを開催		8, 10, 1月	3回
20	サンドアートフェスティバル	金沢文庫芸術祭に合わせ、砂浜の砂を活用した市民参加のミニ砂像づくり教室などを開催		9月	1
21	愛犬マナー教室	気軽に犬の散歩マナーを学ぶことができる教室を実施		秋季(予定)	1
22	海の公園ボランティアDAY	ボランティア活動のきっかけづくりを目的に、活動日を設け、参加を呼びかけ		通年(盛夏等除く)	8
23	金沢八景カヌーレース	地元NPO団体との共催で、カヌー等のレースを本公園と周辺海域で実施		9～10月	1
24	ビーチバレー大会	ビーチバレーの普及に貢献するため、横浜ビーチバレー連盟と協力して開催		通年	10
25	なぎさ広場カップサッカー大会	市内チームと日本在住外国人チームの少年サッカー交流大会を大会実行委員会と共催し実施		12～3月	2
26	金沢区ロードレース大会	本公園から八景島にいたるロードレース駅伝大会を開催		2月	1
27	ターゲットバードゴルフ大会	横浜ターゲットバードゴルフ協会と連携して、シニア向け大会を開催		12～2月	3
28	インクルーシブビーチイベント	横浜ラポール等との共催で、障害のある市民の皆様が海とふれあい、楽しめるイベントを開催		10月頃	1
29	フリーマーケット	市民団体との共催でフリーマーケットを開催		随時	24

海の公園 令和8年度 事業計画書

30	スポーツカーイベント	国内外のスポーツカーを展示し出展者と来園者の交流を意図		11月頃	1
● その他					
31	水遊び場の開設	夏の暑さ対策として、海水浴場開設期間と気温の高い日に実施		海水浴場期間中等	随時
32	海水浴場の遊泳条件・混雑状況可視化サービス	JLAが認定海水浴場に提供する専用機材により、海水浴場にいるライフセーバーが海水浴場の遊泳条件や混雑状況をリアルタイムにホームページなどで発信		海水浴場期間中	随時
33	なぎさ広場団体貸出利用	なぎさ広場団体貸出利用		4～6月 8～12月	67 通年
34	「よこはま緑の街づくり基金」募金箱設置	市内の緑化推進や環境保護等に寄与する募金活動を実施		通年	通年
● 広報・プロモーションの取組					
35	区内情報映像の発信	関係機関や企業等と連携し、区の魅力や取組を海とのふれあいセンターのモニターで映像発信		随時	随時
36	プロモーション映像の発信	金沢工業団地と連携して作成した本公園のプロモーション映像を、公園ホームページや園内のモニターで発信		通年	通年

有料事業実施計画一覧（自主事業含む）

No	事業名	内容 (募集人数・一人当たりの参加費)	新規	実施 時期	回数	自主事業予算額(円)	
						総経費	収入
(2)美 SEA（シー） 海の公園特有の環境を守り、次世代に繋がます							
1	環境学習講座	環境を学べる観察会やワークショップを実施（のべ 80 人、@ 500）		随時	4	200,000	45,000
2	はまっ子ユーキの配布イベント	「はまっ子ユーキ」の利用拡大を支援するため、園内で配布会を実施		随時	随時	未定	未定
(3)楽 SEA（シー） 海の公園のストックを活かし、多様な楽しみを推進します							
3	キッチンカーの出店	多客日を中心に出店し、利用者の飲食ニーズに対応		随時	随時	0	200,000
4	ジュニアサッカー教室	市内サッカークラブと共催する未就学児から小学生対象の通年型の教室		通年	40	0	277,000
	合計					200,000	522,000

(事業計画書様式6)

業務の第三者委託一覧

業務名	内容	再委託会社	年回数	実施月	備考
維持管理業務委託	公園維持管理	横浜市グリーン事業 協同組合	通年	通年	—
樹木医委託	樹木医による樹木の 診断及び樹勢回復等	(特非) 自然への奉 仕者・樹木医協力会	1	未定	—
警備業務委託	公園警備	横浜シーサイド協同 組合	通年	通年	—
受水槽点検清掃	法令等に基づく点検 清掃等①点検清掃② 水質検査③定期検査	(株)トップランドコー ポレーション	①1 ②1 ③1	①未定 ②未定 ③未定	—
消防設備保守点検	法令に基づく定期点 検 ①機器点検 ②総合点検	(有)消防設備サービ ス	①2 ②1	①9、3月 ②3月	—
自家用電気設備保 安	自家用電気設備保安 ①月次点検 ②年次点検	(株)九州電業社	①12 ②1	①毎月 ②未定	—
自家発電設備点検	自家発電設備点検	R8 年度に見積合せ	2	9、3月	—
園内灯設備及び夜 間照明施設保守点 検	園内灯設備及び夜間 照明施設保守点検 ①巡視点検 ②部品交換	光洋電設(株)	①1 ②随時	①4～6月 ②通年	—
なぎさ広場衛生設 備等保守点検	なぎさ広場衛生設備 (ボイラー等) 保守 点検	山本設備工業(株)	1	6月	—
空調設備等保守点 検	空調設備等保守点検 及びフロン簡易点検	東京冷機工業(株)	4	5、8、11、2 月	—
エレベーター設備 保守点検	エレベーター設備保 守点検 (フルメンテ ナンス)	(株)日本ビルテクノ ス	12	毎月	—
海水浴場施設設置	中央監視所・シャ ワー更衣室・大テン トの設置・撤去	(株)芳垣建設	1	4～9月	—
海水浴場総合案内 看板等設置・撤去	海水浴場総合案内・ 犬立入禁止他看板設 置・撤去	R8 年度に見積合せ	1	7、9月	—

海水浴場水質検査	海水浴場水質検査 ①定期検査 ②緊急検査	R8 年度に見積合せ	①5 ②3	7、8 月	—
中央監視所リモートマイク取付・撤去	リモートマイク・スピーカー設置・撤去	R8 年度に見積合せ	1	4～9 月	—
給水ポンプ設備保守点検	給水ポンプ（中央口）設備保守点検	(株)荏原製作所	2	7、1 月	—
電話設備保守点検	電話設備保守点検	R8 年度に見積合せ	6	奇数月	—
放送設備保守点検	放送設備保守点検（公園全体・なぎさ広場）	R8 年度に見積合せ	1	1 月	—
シャッター設備保守点検	シャッター設備保守点検	R8 年度に見積合せ	1	2 月	—
自動ドア保守点検	自動ドア保守点検	(株)神奈川ナブコ	3	4、8、12 月	—
給湯設備点検	艇庫・管理センター給湯設備点検	(株)イワサワ	1	2 月	—
海水浴場ポスターデザイン委託	海水浴場ポスターデザイン	R8 年度に見積合せ	1	6 月	—
サイン計画策定（一部更新）	老朽化した園内看板・表示の計画的に更新	R8 年度に見積合せ	1	5～3 月	—
公園案内リーフレット	リーフレットの増刷	R8 年度に見積合せ	1	随時	—
国際園芸博応援花壇設置	園路沿いの花壇植栽	R8 年度に見積合せ	1	未定	—

(事業計画書様式7)

収支予算書 (指定管理事業のみ)

(単位: 円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
収入の部						
指定管理料	242,955,000	0	242,955,000	0	242,955,000	
利用料金収入	129,000	0	129,000	0	129,000	
自主事業収入	522,000	0	522,000	0	522,000	
横浜市による運営支援	16,072,110	0	16,072,110	0	16,072,110	
横浜市による負担金	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
その他雑入	2,867,000	0	2,867,000	0	2,867,000	指定管理事業外の差引から2,867,000円を繰入
収入合計 (a)	262,545,110	0	262,545,110	0	262,545,110	

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
支出の部						
人件費	93,738,000	0	93,738,000	0	93,738,000	
給与・賃金	79,602,000	0	79,602,000	0	79,602,000	
社会保険料	9,376,000	0	9,376,000	0	9,376,000	
通勤手当	3,374,000	0	3,374,000	0	3,374,000	
福利厚生費	1,386,000	0	1,386,000	0	1,386,000	
勤労者福祉共済掛金	0	0	0	0	0	
退職給付引当金繰入額	0	0	0	0	0	
事務費	22,313,910	0	22,313,910	0	22,313,910	
旅費	3,391,800	0	3,391,800	0	3,391,800	
消耗品費	5,014,300	0	5,014,300	0	5,014,300	
会議ठीい費	49,000	0	49,000	0	49,000	
印刷製本費	80,000	0	80,000	0	80,000	
通信運搬費	1,618,800	0	1,618,800	0	1,618,800	
使用料及び賃借料	240,000	0	240,000	0	240,000	
(横浜市への支払い分)	0	0	0	0	0	
(その他)	240,000	0	240,000	0	240,000	
備品購入費	1,928,400	0	1,928,400	0	1,928,400	
保険料	1,175,100	0	1,175,100	0	1,175,100	
振込手数料	0	0	0	0	0	
リース料	7,095,000	0	7,095,000	0	7,095,000	
手数料	0	0	0	0	0	
その他事務費	1,721,510	0	1,721,510	0	1,721,510	
自主事業費	5,141,000	0	5,141,000	0	5,141,000	
管理費	116,917,200	0	116,917,200	0	116,917,200	
光熱水費合計	28,156,900	0	28,156,900	0	28,156,900	
光熱水費 (電気)	11,273,800	0	11,273,800	0	11,273,800	
光熱水費 (ガス)	110,700	0	110,700	0	110,700	
光熱水費 (水道)	8,690,800	0	8,690,800	0	8,690,800	
光熱水費 (下水道)	8,081,600	0	8,081,600	0	8,081,600	
清掃費	8,430,000	0	8,430,000	0	8,430,000	
修繕費	10,000,000	0	10,000,000	0	10,000,000	
機械警備費	0	0	0	0	0	
公園及び公園施設設備保全費	70,330,300	0	70,330,300	0	70,330,300	
施設 (建物) ・設備保守	3,765,000	0	3,765,000	0	3,765,000	
園地管理費	36,713,900	0	36,713,900	0	36,713,900	
その他保全費	29,851,400	0	29,851,400	0	29,851,400	
公租公課	8,812,000	0	8,812,000	0	8,812,000	
公租公課 (事業所税)	0	0	0	0	0	
公租公課 (消費税)	8,786,000	0	8,786,000	0	8,786,000	
その他公租公課	26,000	0	26,000	0	26,000	
事務経費 (本部分)	12,352,000	0	12,352,000	0	12,352,000	
雑費	3,271,000	0	3,271,000	0	3,271,000	
支出合計 (b)	262,545,110	0	262,545,110	0	262,545,110	
差引 (a-b)	0	0	0	0	0	

今年度の収支計画

- ・自主事業収入 500 千円以上
- ・その他保全費 30,622 千円未満 (前年度予算 31,322 千円から 700 千円以上の減)

(事業計画書様式8)

運営目標

項 目	取組み内容及び具体的な数値目標
業務運営1 (様式2: 運営業務の実施計画・取組)	各ミッションに関する取組 (1)安全・安心を強化し、「いつも」・「もしも」に備えます (2)海の公園特有の環境を守り、次世代に繋げます (3)海の公園のストックを活かし、多様な楽しみを推進します (4)海の公園のより良い公園環境は、多様な主体と連携して創出します
業務運営2 (様式2: 管理運営体制、人員の配置と研修計画)	(1)計画した人員の配置 (2)研修・講習の実施 10件以上
業務運営3 (様式3: 利用者サービスの向上・利用促進策)	(1)自主事業提案 41件 (2)水遊び場の開設(随時) (3)遊泳条件・混雑状況可視化サービスの提供(随時) (4)利用者満足度アンケート総合満足度の結果60%以上
業務運営4 (様式3: 広報・プロモーションの取組)	(1)金沢区居住促進プロモーションと連携した広報の実施 (2)横浜金沢観光協会や横浜シーサイドラインと連携した情報発信
業務運営5 (様式3: 市民協働、市民主体の活動の支援、地域人材育成)	(1)多様な主体との連携(通年) (2)ボランティア活動の支援(通年) (3)地域人材育成の取組
業務運営6 (様式3: 地域課題を踏まえた事業提案・地域活性化への貢献)	(1)地域経済活性化への取組 横浜市グリーン事業協同組合の活用(通年) 市内中小企業への優先発注(随時) (2)業務運営3、5、7の取組の実施(再掲)
業務運営7 (様式3: 本市の重要施策を踏まえた取組・環境への配慮)	(1)GREEN×EXPO 2027 応援花壇の設置・管理(随時) (2)回収アオサの堆肥化(随時) (3)横浜ブルーカーボン事業への協力(通年)
業務運営8 (様式4: 公園の魅力を高める施設保全・管理)	(1)漂着アオサの回収と堆肥化(随時) (2)砂浜耕耘による貝類の生育環境の改善 (3)アマモ場の保全、再生活動

業務運営 9 (様式 4 : 施設 (建物等)、設備の維持管理、修繕計画)	(1) 定期点検 (通常 3 回・詳細 1 回) の実施 (2) 当団体独自のチェックシートに基づく定期点検の実施 (月 1 回)
業務運営 10 (様式 4 : 樹木、植栽等の管理)	(1) GREEN×EXPO 2027 応援花壇による魅力増進 (随時) (2) 季節の見どころ作りに配慮した花壇管理 (3) 「白砂青松」の景観の保全 ・樹形に配慮した整姿剪定 (随時) ・マツ枯れ対策の実施 (随時) (4) 公園環境に合わせた植栽の充実 ・耐潮性のある植物の選定
業務運営 11 (様式 4 : 巡視・清掃)	(1) 日常巡視の実施 (1 日 2 回) (2) 梅雨、台風、落葉時期に排水機能の確認 (随時) (3) 海水浴シーズン、年末年始の迷惑行為に対する警備員の巡視
収支 (様式 7 : 収入確保、経費節減策)	・自主事業収入 500 千円以上 ・その他保全費 30,622 千円未満 (前年度予算 31,322 千円から 700 千円以上の減)